

【学校教育目標】知・徳・体の調和がとれ、主体的・協働的に行動できる子どもの育成



# 学校だより

鈴鹿市立愛宕小学校

令和5年7月19日

No. 9



## 6月23日(金) 授業参観・第2回学校運営協議会

今年度2回目の授業参観です。4月の授業参観と比べると、特に1年生は自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりする態度に成長を感じました。多くの方のご参観を賜り、ありがとうございました。

1年



2年



3年



4年



5年



6年



また、この日は、第2回学校運営協議会も開催しました。委員の皆様にも授業参観をしていただき、その後熟議に入りました。主な内容は以下の通りです。

### ①登下校時の見守り

・朝の登校時間に、急に激しい雨が降ってきた。学校西の踏切から更に西に進んだ交差点で見守りをしていたが、雨音で「ストップ」と言う声も聞こえないぐらいだった。車の方も注意していたが、登下校の見守りでの大人の協力をお願いできればと思う。

→ありがとうございます。日々の登下校の見守りは大変ありがたいです。

### ②授業を参観して

・端末と辞書を併用した授業や、グループや隣同士での話し合い活動を取り入れた授業などが見られた。コロナが第5類に引き下げられ、授業の在り方も変わってきたように思う。

→授業での端末の活用は定着しつつあるが、質の高い効果的な使い方が問われるようになってきている。また、コロナ禍、グループ活動などの制限があったが、文科省は「主体的・対話的で深い学び」の視点での授業改善を提唱している。少しずつ、子ども同士の話し合いなどを通して学びが深まるような授業を再開している。

・環境面では、廊下の雑巾や水筒が揃い、掲示物にも工夫が見られた。特に、6年生は各自が調べたことが端末を使ってまとめられ、感心した。

### ③令和5年度愛宕小いじめ防止対策基本方針・令和5年度危機管理マニュアル

・改定したところを中心に説明し、ご承認いただきました。それぞれ、ホームページにも掲載してありますのでご覧ください

委員の皆様から、建設的なご意見やご感想を賜りました。学校教育は、学校と保護者、地域の皆様と共に、協働しながら子どもたちの心身の豊かな成長を支えたいと考えているからこそ、充実したものになっていくと改めて感じました。本当にありがとうございました。



## ◆6月20日まつかぜ「学校向け文化体験プログラム ～俳句づくりに挑戦～」



三重県生涯学習センターの事業で、「子どもたちに感動体験を！」をキャッチフレーズに、文化芸術に関する様々な分野の専門家の方が講師として学校に出向き、子どもたちに指導をしていただける体験活動です。

この日は、現代俳句協会の平賀節代先生に来ていただき、まつかぜの子どもたちが俳句について学びました。

まずは、五・七・五の十七音や季語について教えてもらいました。そして、この時期によく見られる様々な草花を目の前に並べたり、一つの言葉から目で見たり、触ったり、においを嗅いだりするなどの体感を通して浮かぶ言葉を連想したりしながら、季語を膨らませていきました。また、涼しさを感じる夏の季節モノでもあります「水中花」を見せてもらいました。水が入った鉢に紙で折った水中花を入れると、お花が少しずつ開花。子どもたちは目を輝かせて見入っていました。最後に一人一人が俳句作りに挑戦。できた俳句は「子ども俳句」に平賀先生が出品してくださるそうです。ワクワクいっぱいの感動を感じながら、俳句づくりを通して言葉の魅力を感じた時間になりました。

## ◆6月29日 1年生「アサガオ観察のまとめ ～クロムブックを使って～」

1年生の子どもたちが、一生懸命育ててきたアサガオ。朝水やりをしている子どもたちから、「校長先生、3つ花が咲いたよ。」などの声をかけてくれることがよくありました。種をまき、双葉・本葉が出て、つるが伸び、つぼみがつき、今はピンクや水色、紫などのお花が咲いています。

生長の一つひとつの過程で担任が撮った写真を、子どもたちが端末上で順番に並べ替え、これまでのふり返しを行いました。子どもたちは、画面いっぱいに移る写真を見て、歓声があがるほど大喜びでした。

